

病態制御医学講座／内科学(3)分野附属病院／第三内科

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	石塚 全	平成24年12月－
准教授	此下 忠志	平成12年6月－
		平成2年6月－平成2年10月 平成9年6月－（平成26年1月－現職）
講師	鈴木 仁弥	平成12年4月－平成13年4月 平成16年10月－（平成21年4月－現職）
助教	梅田 幸寛	平成10年4月－平成11年2月 平成14年4月－平成14年9月 平成21年4月－（平成26年1月－現職）
助教	安齋 正樹	平成29年4月－
助教	早稲田 優子	平成17年10年（平成24年4月－現職）
助教	森川 美羽	令和元年6月－
助教	重見 博子	平成29年4月－（令和元年7月－現職）
		平成15年7月－平成17年9月 平成23年8月－（平成30年4月－現職）
特命講師	銭丸 康夫	平成15年4月－平成16年5月 平成19年6月－（平成27年4月－現職）
特命助教	今川 美智子	平成18年5月－平成18年12月 平成23年4月－（平成31年4月－現職）
特命助教	佐藤 さつき	

2. 研究概要

研究概要

【呼吸器グループ】

1. FDG-PETの呼吸器疾患診断への臨床応用

活性化した炎症細胞では、GLUT発現の亢進やHexokinaseの活性化が報告されており、悪性腫瘍以外の炎症性疾患にも集積が見られる。当科では高エネルギー医学研究センターと共同し肺癌のみならず様々な炎症性肺疾患のデータの集積を継続している。

2. 新しいトレーサーを用いたPETによる肺癌診断への応用

腫瘍診断において一般的に用いられているFDGに加え、チミジンのアナログであり細胞増殖のマーカーとなりうる18F-FLTを用いたPET画像の検討を継続中である。

3. MRI、FDG-PET/MRIの呼吸器疾患診療への臨床応用

胸部病変の診断に対するMRIの有用性は、近年、拡散強調画像やSTIR像などの撮像シーケンスの改良によりその有用性は高まっている。当グループでもMRIを肺癌診療に取り入れ、臨床的研究を継続している。さらに免疫チェックポイント阻害薬の治療効果予測におけるFDG-PET/MRIの有用性の検討を実施中である。

4. 仮想気管支鏡と極細径気管支鏡およびガイドシース気管支腔内超音波断層法の有用性の検討

当院では仮想気管支鏡（Virtual Bronchoscopic Navigation）システム、極細径気管支鏡、ガイドシース気管支腔内超音波断層法（EBUS-GS）システム、超音波気管支鏡ガイド下針生検システム（EBUS-TBNA）、等を導入し、それら新しいデバイスの有用性を検討している。

5. 細胞外酸性の慢性気道炎症、気管支喘息の病態へ及ぼす影響に関する研究

ヒト気道上皮細胞およびヒト気管支平滑筋細胞に発現し、細胞外酸性を感知する受容体（プロトン感知性Gタンパク質共役型レセプター）の一つであるOvarian cancer G-protein-coupled receptor 1（OGRI）の気道炎症における役割について基礎的研究を進めている。

6. 非小細胞肺癌に対する2次化学療法に関する臨床試験

非小細胞肺癌に対するアルブミン結合型パクリタキセルの効果と安全性に関する臨床試験を主任研究機関として実施し、試験を終了し、学術論文を発表した（Medicine (Baltimore) 96: 51(e9320), 2017）。

7. 重症・難治性喘息に関する臨床研究

重症喘息患者に対する分子標的薬（オマリズマブ、メボリズマブ、ペンラリズマブ）の効果と安全性に関する検討を行っている。また、2015年度に重症喘息に対する新規非薬物療法（気管支サーモプラスティ）を国公立大学として国内で最初に実施したが、症例を集積している。また、CT画像を用いて分子標的薬、気管支サーモプラスティの気管支壁肥厚などの評価を行っている。気管支サーモプラスティに関して施設共同研究にも参加している。

8. コントロール不良糖尿病患者における結核発病リスクに関する研究

HbA1cが7以上の患者（呼吸器内科または内分泌代謝内科入院中）に同意を得たうえでクオンティフェロン検査を行い、目標症例200例の検査を終了した。

【内分泌・代謝グループ】

1. RAS系コンポーネントの遺伝子発現に関する研究を進展させ“アンジオテンシンIV受容体の新規高感度測定系による分子遺伝学的ならびに臨床的評価”について検討。（文部科学省科学研究費補助金 基盤研究）

2. 日本学術振興会二国間交流事業協同研究「子癇前症の早期診断に関連する諸因子に及ぼすHIV感染の影響」を南アフリカ共和国と実施。（JSTプロジェクト）

3. “ゲノム情報を活用した糖尿病の先駆的診断・治療法の開発研究”（独立行政法人医薬基盤研究所 保健医療分野における基礎研究推進事業研究プロジェクト）

4. 分担分（2005年～2010年）で得られた成果について、発展的に継続。

5. 共同研究体、Genomic Disease Outcome Consortium (G-DOC) Study InvestigatorsをUMIN-CTRに登録し遺伝子コホート研究を展開。

6. “脂肪心筋”の病態生理と治療法に関する研究：

肥満・糖尿病患者で認められる“脂肪心筋”が心機能を障害するメカニズムは十分に解明されていない。我々は脂肪滴関連蛋白Perilipin (PLIN) 2に着目し、PLIN2が脂肪心筋の発生と心機能に与える影響をtransgenic/knockoutマウスを作製して解析している。近年、PLIN2過剰発現による脂肪心筋は心房細動を誘発することを発見し、そのメカニズムを報告した。また、高度の脂肪心筋をきたして早期に心不全に至るATGL欠損マウスを用いて、脂肪心筋に対する遺伝子治療や薬物治療の効果を検討している。これらの研究により生活習慣病患者に合併する“脂肪心筋”の病態生理を解明し、その予防法、治療法を確立することが目標である。

7. 心筋のエネルギー代謝に関する研究：

心筋はグルコースと脂肪酸を主なエネルギー源として利用するが、糖尿病、肥満症や飢餓状態では脂肪酸を主なエネルギー源とする。しかし過度の脂肪酸利用はミトコンドリアなどに負荷を与えるため、心筋細胞は遺伝子レベルで様々な防御機構を働かせている。我々はマイクロアレイの解析から脂肪酸利用に反応して誘導される酵素群を抽出し、それらの機能をTg/KOマウスモデルを用いて解析している。中でもケトン合成酵素HMG-CoA synthaseのmRNAが絶食や脂肪酸負荷で著明に増加することに着目し、心筋特異的過剰発現マウスを作製して解析している。

8. 糖尿病管理に関する臨床研究：

糖尿病血管障害の抑制には食後高血糖管理が重要であるが、入院インスリン治療者の約80%では食後1時間血糖値は十分に管理されていない。食後血糖値の完全な正常化を目指して、インスリン、インクレチン製剤や各種内服薬により食後早期の血糖上昇を抑制する方法を検討している。また、続血糖モニタリングシステム（CGMS）を応用した新たな糖尿病管理法を探索している。

キーワード

【呼吸器グループ】肺がん診断、間質性肺炎診断、PET、MRI、仮想気管支、極細径気管支鏡、肺がん治療、重症気管支喘息、分子標的薬、気管支サーモプラスティ、プロトン、慢性気道炎症

【内分泌・代謝グループ】糖尿病学、高血圧学、内分泌代謝学、動脈硬化学、メタボリックシンドローム、レニン-アンジオテンシン系、レニン遺伝子、遺伝子多型、脂肪心筋（症）、糖尿病性心筋症、遺伝子多型脂肪心筋（症）、糖尿病性心筋症、エネルギー代謝

業績年の進捗状況

【呼吸器グループ】

- 疾患活動性評価の難しい特発性間質性肺炎の診断・予後評価に2時相FDG-PETが有用であることをEur J Nucl Med Mol Imagingに報告した。さらに症例を蓄積し、早期像と遅延像でのFDGの集積の変化率が長期生命予後に関連することを検証した。この内容を欧州呼吸器学会(Barcelona 2013)で発表し、その成果がJ Nucl Med誌に掲載された(Umeda Y. et al. J Nucl Med 56: 1869-75, 2015)。
- 間質性肺炎の治療早期効果判定への2時相FDG-PET画像の有用性に関する検討を2012年度から開始し現在症例集積中である。
- これまで我々は当施設の高エネルギー医学研究センターと共同して肺癌におけるFLT-PET画像所見と無増悪生存期間と全生存期間の関係を検討し、日本肺癌学会総会(京都 2014)で報告した。全身化学療法による血液毒性の予測因子としての脊椎へのFLT集積の有用性について、日本呼吸器学会(大阪)で発表し、現在学術誌への投稿中である。
- 放射線科、呼吸器外科と合同で、FDG-PETとMRIの肺癌に対する化学療法の効果判定における有用性について検証し、学術誌に掲載された(J Magn Reson Imaging 38:80-88, 2013)。
- 免疫チェックポイント阻害薬の治療効果予測におけるFDG-PET/MRIの有用性を評価するために症例集積中で、学会発表を予定している。
- 当院の肺野末梢病変における極細気管支鏡と仮想気管支鏡との組み合わせによる診断率の検討を全国他5つの施設と多施設共同研究し、学術誌に掲載された(Am J Respir Crit Care Med 188:327-333, 2013)。
- また、当院での仮想気管支鏡とガイドドゥース気管支腔内超音波断層法(EBUS-GS)システムによる小型肺結節の診断能に関わる因子を検討し、FDG集積の程度とCT上の関与気管支の有無が重要であることを検証し、報告した(Lung Cancer 85: 47-52, 2014)。さらに、現在前向き研究として肺の良性・悪性の末梢病変に対して気管支鏡診断とPET所見の解析を行っている。
- ヒト気道上皮細胞株、およびヒト気管支平滑筋細胞を用いて、細胞外酸性で変動する遺伝子(mRNA)を網羅的に解析した。ヒト気管支平滑筋細胞から細胞外酸性刺激によって分泌されるIL-8産生について、関与する細胞内シグナル伝達経路とステロイドによるIL-8産生抑制効果について研究を進め、論文投稿準備中である。
- 免疫チェックポイント阻害薬使用後のアルブミン結合型バクリタキセル単剤療法の有効性と安全性に関する第二相試験を開始し、症例を集積している。
- 気管支サーマブラスティ、分子標的薬の効果の評価に関して、日本呼吸器病学会学術講演会(大阪)日本呼吸器内視鏡学会(東京)で発表した。現在症例を集積中である。
- コントロール不良糖尿病の結核発病リスクに関する研究を本年度、日本呼吸器学会学術講演会(京都)、日本結核病学会(金沢)で発表し、現在、論文の投稿準備中である。

【内分泌・代謝グループ】

これまで網羅的トランスクリプトーム解析により、糖尿病/高血圧を識別しうる比較的明確なクラスター形成を得たのち、Gene Ontology、Pathway 解析から angiotensin II 消去系全般的発現低下が示唆され、real-time PCR法での解析を完了し、AT4について可溶部分に対し抗体を設定し測定系を構築、測定条件の適正化も完了し実測し一定の成績を得てきたが、この後継研究として新規の文部科学省科学研究費補助金を得て、この高感度測定系のキットの作成を継続している。

これまでヒトレニン遺伝子転写調節機序解析による知見など(Kidney Int 1996, J Cell Biochem 2004, J Cell Biochem 2007)に基づき、Ca拮抗薬におけるレニン-アンジオテンシン系活性化の程度を検討し(J Hypertens 2010)、Caチャネル遮断薬の特性を比較評価し抗アルブミン尿効果の差異を説明(Int J Cardiol 2013)。さらに継続して地域協力病院との大規模コホート(G-DOC Study Investigators)を用い、遺伝子転写レベルの研究からのトランスレショナリストアディとしての臨床研究を展開し、レニン遺伝子型についてゲノム薬理学的な成績を報告したが(Diabetes Care 2009, Curr Hypertens Rep 2011)、さらに血漿濃度との関係を明らかにした(Medicine 2014)。また、グループの市川らは糖尿病有病率と関連する遺伝子として、レニン-アンジオテンシン系のうち、アルドステロン合成酵素の意義を明らかにした(Acta Diabetologica 2014)。大学院生の牧野によりレニン遺伝子型による組織発現量の関係が明らかとされた(PLoS One 2015)。2015年度に日本学術振興会二国間交流事業による南アフリカ、クワズルナタール大学から大学院生が1名来日約3か月滞在し、所定の実験を実施し完了したが、その成果を3本の論文にまとめ投稿中である。また、レニン-アンジオテンシン系に関連した臨床研究として、ARBへのN型Caチャネルの降圧薬としての効果についての論文を国際的学術誌に掲載している(Biosci Rep 2016)。

脂肪心筋が不整脈を誘発する病態生理を解明するため、心筋特異的PLIN2過剰発現マウスを用いて解析を行っている。心筋PLIN2の過剰発現による脂肪心筋がギャップジャンクション蛋白コネキシン43の細胞内局在性を変化させるメカニズムを解明するため、心筋脂質のリビドーム解析を行った。その結果、PLIN2による脂肪心筋では21種類のトリグリセリドと2種類のジアシルグリセロールが増加し、2種類のフォスファチジルエタノールアミンが減少していることを発見し、日本糖尿病学会および日本動脈硬化学会にて報告した(佐藤)。さらにPLIN2による脂肪心筋はGLP-1アゴニストのデュラグルチドで著明に改善することを同学会にて報告した(鈴木)。

特色等

【呼吸器グループ】

PET研究をはじめ総合画像診断の分野では当大学が最先端を走っており、呼吸器疾患の分野においても、当大学の高エネルギーセンターとの共同研究のもと、当グループによる研究成果が国内外で評価され、論文発表に繋がってきている。とくに、肺癌診断のみならず、他の肺疾患においても、PET画像やMRI画像による質的診断が有用であることが明らかとなり、新しい診断技術の開発に繋がっている。平成22年度から、本学高エネルギー医学研究センターと共同で肺癌の診断・治療反応性・予後評価におけるFLT-PETの有用性に関する検討も開始している。現在、18F-FLTをトレーサーとして用いることができる施設は限られ、肺癌における報告も世界的に見て限られており、本研究は非常に先駆的な内容である。さらに、高エネルギー医学研究センターにPET/MRIが導入され、肺がんの免疫チェックポイント阻害薬の効果予測に関する研究を開始した。

肺癌治療における組織型診断は、個別化治療の進歩に伴ってより重要となっており、各種気管支鏡による診断率の向上は重要である。当施設は気管支鏡診断の技術は全国でもトップクラスであり、実臨床において必要な肺癌診断に対し、高い診断率を誇っている。

気管支喘息の管理は吸入ステロイド薬を中心とした標準的治療法により飛躍的に改善したが、治療抵抗性の難治性喘息の病態の解明、COPDと喘息の合併患者の治療、管理、新規治療の開発は重要である。

【内分泌・代謝グループ】

- 国外機関の共同研究 RA系遺伝子のクローニングやACE遺伝子多型の発見と応用など、国際的な第一人者であるフランス国立医学研究所College de FranceのCorvol教授を中心としたグループ(仏 パスツール研究所、米 Emory Universityを含む)との共同研究を継続。南アフリカ共和国クワズルナタール大学との国際交流共同研究を展開。
- 関連病院との共同研究 全国10都府県、40数施設にわたる共同研究、Genomic Disease Outcome Consortium (G-DOC) Study InvestigatorsとしてUMINに登録して活動。
- 学会診療ガイドライン作成への関与。
- 脂肪心筋の病態生理に関して、米国Stanford大学内科・内分泌代謝学Kraemer教授研究室と共同研究を継続している。

本学の理念との関係

【呼吸器グループ】

- トランスレショナリサーチ(基礎的な研究成果の臨床応用)に繋がる研究を行っている。
- 呼吸器疾患の新たな画像診断技術の創設に寄与している研究と考えられる。

【内分泌・代謝グループ】

福井大学の重点領域の1つである「生体における分化・増殖などの情報伝達・制御機構、高次生体システムの発達・構築とその維持機構、及びそれらの異常の解明を通じ、生まれ、健やかに育ち、老いる過程に関する世界的に優れた研究を行う」に該当。

3. 研究実績

区分		編数	インパクトファクター(うち原著のみ)
		2019年分	2019年分
和文原著論文		2	—
	ファーストオーサー	12	57.476 (57.476)
	コレスポンディングオーサー	12	57.476 (57.476)
	その他	0	0 (0)
合計		12	57.476 (57.476)

- (A) 著書・論文等
(1) 英文：著書等
a. 著書
b. 著書(分担執筆)
c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

- 1930001** Sato S, Suzuki J, Hirose M, Yamada M, Zenimaru Y, Nakaya T, Ichikawa M, Imagawa M, Takahashi S, Ikuyama S, Konoshita T, Kraemer F, Ishizuka T: Cardiac overexpression of perilipin 2 induces atrial steatosis, connexin 43 remodeling, and atrial fibrillation in aged mice., *Am J Physiol Endocrinol Metab*, 317(6), e1193-e1204, 201912, DOI: 10.1152/ajpendo.00227.2019, #4.125
- 1930002** Y. Hachisu, Y. Koga, S. Kasama, K. Kaira, M. Yatomi, H. Aoki-Saito, H. Tsurumaki, Y. Kamide, N. Sunaga, T. Maeno, T. Ishizuka, T. Hisada: Treatment with Tumor Necrosis Factor - α Inhibitors, History of Allergy, and hypercalcemia Are Risk Factors of Immune Reconstitution Inflammatory Syndrome in HIV-Negative Pulmonary Tuberculosis Patients, *J Clin Med*, 9, 96-96, 20200110, DOI: 10.3390/jcm9010096, #5.688
- 1930003** T. Sonoda, Y. Waseda, S. Iino, Y. Imamura, M. Takeuchi, Y. Umeda, M. Morikawa, M. Anzai, T. Ishizuka: The case of non-small cell lung cancer followed by lip lymphoproliferative disease after immunotherapy, *Annals of Oncology*, 30, 20191007, DOI: org/10.1093/annonc/mdz343.112 (症例報告), #14.196
- 1930004** Sato M, Aoki-Saito H, Fukuda H, Ikeda H, Koga Y, Yatomi M, Tsurumaki H, Maeno T, Saito T, Nakakura T, Mori T, Yanagawa M, Abe M, Sako Y, Dobashi K, Ishizuka T, Yamada M, Shuto S, Hisada T.: Resolvin E3 attenuates allergic airway inflammation via the interleukin-23-interleukin-17A pathway., *FASEB J*, 33(11), 12750-12759, 20200114, DOI: org/10.1096/fj.201900283R, #5.391
- 1930005** Kitazono S, Sakai K, Yanagitani N, Ariyasu R, Yoshizawa T, Dotsu Y, Koyama J, Saiki M, Sonoda T, Nishikawa S, Uchibori K, Horiike A, Nishio K, Nishio M.: Barcode sequencing identifies resistant mechanisms to epidermal growth factor receptor inhibitors in circulating tumor DNA of lung cancer patients., *Cancer Sci*, 110(10), 3350-3357, 20190730, DOI: 10.1111/cas.14153, #4.751
- 1930006** Saiki M, Yoshizawa T, Dotsu Y, Ariyasu R, Koyama J, Sonoda T, Uchibori K, Nishikawa S, Kitazono S, Yanagitani N, Horiike A, Nishio M.: Correlation between serum adenosine deaminase activity and efficacy of anti-programmed cell death-1 antibody., *Lung Cancer*, 133, 4-9, 20190701, DOI: 10.1016/j.lungcan.2019.04.022, #4.599
- 1930007** Yamada K, Shigemitsu H, Suzuki K, Yasutomi M, Iwasaki H, Ohshima Y: Successful management of a *Bacillus cereus* catheter-related bloodstream infection outbreak in the pediatric ward of our facility., *J Infect Chemother*, 25(11), 873-879, 20190622, DOI: 10.1016/j.jiac.2019.04.013 (症例報告), #1.539
- 1930008** Kaira K, Imai H, Souma R, Sakurai R, Miura Y, Sunaga N, Kasahara N, Tsukagoshi Y, Koga Y, Kitahara S, Kotake M, Minato K, Naruse I, Fukushima Y, Hisada T, Ishizuka T: An Exploratory Randomized Phase II Trial Comparing CDDP Plus S-1 With Bevacizumab and CDDP Plus Pemetrexed With Bevacizumab Against Patients With Advanced Non-squamous Non-small Cell Lung Cancer., *Anticancer Res*, 39(5), 2483-2491, 20190501, DOI: 10.21873/anticancer.13368, #1.935
- 1930009** Enomoto N, Egashira R, Tabata K, Hashisako M, Kitani M, Waseda Y, Ishizuka T, Watanabe S, Kasahara K, Izumi S, Shiraki A, Miyamoto A, Kishi K, Kishaba T, Sugimoto C, Inoue Y, Kataoka K, Kondoh Y, Tsuchiya Y, Baba T, Sugiura H, Tanaka T, Sumikawa H, Suda T.: Analysis of systemic lupus erythematosus-related interstitial pneumonia: a retrospective multicentre study., *Sci Rep*, 14(9), 7355-7355, 20190501, DOI: org/10.1038/s41598-019-43782-7, #4.011
- 1930010** Koyama J, Horiike A, Yoshizawa T, Dotsu Y, Ariyasu R, Saiki M, Sonoda T, Uchibori K, Nishikawa S, Kitazono S, Yanagitani N, Ninomiya H, Ishikawa Y, Nishio M.: Correlation between thyroid transcription factor-1 expression, immune-related thyroid dysfunction, and efficacy of anti-programmed cell death protein-1 treatment in non-small cell lung cancer., *J Thorac Dis*, 11(5), 1919-1928, 20190501, DOI: 10.21037/jtd.2019.04.102, #2.027
- 1930011** Umeda Y, Tsujikawa T, Anzai M, Morikawa M, Waseda Y, Kadowaki M, Shigemitsu H, Ameshima S, Mori T, Kiyono Y, Okazawa H, Ishizuka T: The Vertebral 3'-Deoxy-3'-18F-Fluorothymidine Uptake Predicts the Hematological Toxicity after Systemic Chemotherapy in Patients with Lung Cancer, *Eur Radiology*, 29(7), 3908-3917, 20190410, DOI: 10.1007/s00330-019-06161-4, #3.962
- 1930012** Nakao A, Hiranuma O, Uchino J, Sakaguchi C, Kita T, Hiraoka N, Ishizuka T, Kubota Y, Kawasaki M, Goto Y, Imai H, Hattori N, Nakatomi K, Uramoto H, Uryu K, Fukuda M, Uchida Y, Yokoyama T, Akai M, Mio T, Nagashima S, Chihara Y, Tamiya N, Kaneko Y, Mouri T, Yamada T, Yoshimura K, Fujita M, Takayama K.: Osimertinib in Elderly Patients with Epidermal Growth Factor Receptor T790M-Positive Non-Small-Cell Lung Cancer Who Progressed During Prior Treatment: A Phase II Trial., *Oncologist*, 593-e170, 201905, DOI: 10.1634/theoncologist.2019-0003, #5.252

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

- 1930013** Ishizuka T, Kadowaki M, Yamada H, Sato K, Shigemitsu H, Umeda Y, Moriakiawa M, Waseda Y, Anzai M, Kamide K, Aoki-Saito H, Hisada T: Acidic pH-induced CXCL8 secretion through proton-sensing receptor OGR1 in human airway smooth muscle cells, *American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine*, 199, A2910-A2910, 20190520, DOI: org/10.1164/ajrcm-conference.2019.199.1.MeetingAbstracts.A2910, #16.494
- 1930014** Waseda Y, Shiraki A, Saeki A, Watanabe S, Sonoda T, Ishida T, Makino S, Tomii T, Hase T, Hasegawa Y, Okamoto M, Izumi S, Miyamoto A, Kishi K, Kishaba T, Nara M, Komatsuda A, Akira M, Kawamura K, Ichikado K, Koreeda Y, Mitsuma T, Hamaguchi Y, Muro Y, Egashira R, Sumikawa H, Ishizuka T, Johkoh T: Analysis of clinical features by both diagnosis and types of antibodies in patients with myositis related interstitial lung disease: a retrospective multicenter study., *American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine*, 199, A4751-A4751, 20190521, DOI: org/10.1164/ajrcm-conference.2019.199.1.MeetingAbstracts.A4751, #16.494
- 1930015** Sato M, Waseda Y, Sonoda T, Sugiyama M, Shimada A, Yamaguchi M, Honjo C, Kadowaki M, Shigemitsu H, Umeda Y, Morikawa M, Anzai M, Ishizuka T: A case of bronchiolitis obliterans diagnosed by an ultrathin bronchiolitis after bone marrow transplantation., *American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine*, 199, A6335-A6335, 20190522, DOI: org/10.1164/ajrcm-conference.2019.199.1.MeetingAbstracts.A6335, #16.494
- 1930016** Konoshita T, Azuma S, Kasahara M, Furutani M, kaeriyama S, Nakaya T, Yamada M, Ichikawa M, Sato S, Imagawa M, Zenimaru Y, Suzuki J, Fujii M, Makino T, Onoe T: Genetic association study of uromodulin and serum uric acid concentration and blood pressure., *Journal of Hypertension*, 37, 76-77, 20190624, DOI: 10.1097/01.hjh.0000571132.58944.57, #4.171

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

- 1930017** 石塚 全：職業性アレルギーの診療の実際：アレルギー診療 重要基礎知識, 医歯薬出版株式会社医学のあゆみBOOKS, 192-194, 20191005

c. 編集・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

- 1930018** 此下 忠志, 浦邊 真知, 佐藤 さつき, 銭丸 康夫, 藤井 美紀, 牧野 耕和: 尿酸代謝・血圧値に関するウロモジュリン遺伝子の相関解析, *痛風と尿酸・核酸*, 43(1), 32-33, 20190725
- 1930019** 此下 忠志, 浦邊 真知, 佐藤 さつき, 銭丸 康夫, 藤井 美紀, 牧野 耕和: SLC2A9 (GLUT9) 遺伝子多型とレニン-アンジオテンシン, *痛風と尿酸・核酸*, 43(1), 11-17, 20190725

b. 原著論文（審査無）

c. 総説

1930020

此下忠志: BIOLOGY TOPICS: 新レニン-アンジオテンシン系因子AT4の新規高感度測定系. , BIO Clinica 12, 34(14), 66-69, 20191210

1930021

此下忠志: 腎泌尿器領域における内分泌性高血圧. , 腎臓内科・泌尿器科, 10(1), 3-11, 201907

1930022

此下忠志: Cutting Edge アンジオテンシンIV受容体 (AT4) の 高感度測定系の確立. , Med Sci Digest, 45, 43-46, 20190420

1930023

石塚 全: 特集/最新の喘息診療と課題 喘息における好中球性気道炎症”, アレルギーの臨床, 40(1), 27-30, 20200120

1930024

石塚 全 : 気管支喘息治療の現状と社会的損失, Progress in Medicine, 39, 465-471, 20190510

d. その他研究等実績 (報告書を含む)

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演 (口演)

1930025

T. Konosita, S. Azuma, M. Kasahara, M. Furutani, S. kaeriyama, T. Nakaya, M. Yamada, M. Ichikawa, S. Sato, M. Imagawa, Y. Zenimaru, J. Suzuki, M. Fujii, T. Makino, T. Onoe: Genetic association study of uromodulin and serum uric acid concentration and blood pressure, 29th European Meeting on Hypertension and Cardiovascular Protection, イタリア, 20190624

d. 一般講演 (ポスター)

1930026

M. Yamada, J. Suzuki, M. Hirose, T. Nakaya, M. Ichikawa, S. Sato, M. Imagawa, Y. Zenimaru, F. B. kraemer, T. Konosita, T. Ishizuka: Overexpression of HSL restores PPAR α -regulated gene expression and inhibits lipotoxic cardiomyopathy in ATGL-deficient mice, 56th Annual Meeting of the European Association for the Study of Diabetes, バルセロナ (スペイン), 20190918

1930027

H. Shigemitsu, Y. Ideno, Y. Muroi, C. Matsuyama, M. Hida, Y. Yamashita, T. Ishizuka, H. Iwasaki: EFFICACY OF IOT (INTERNET OF THINGS) TO IMPROVE HAND HYGIENE PERFORMANCE, ICPIC2019, Geneva (Switzerland), 20190912

1930028

M. Sato, Y. Waseda, T. Sonoda, M. Sugiyama, A. Shimada, M. Yamaguchi, C. Honjo, M. Kadowaki, H. Shigemitsu, Y. Umeda, M. Morikawa, M. Anzai, T. Ishizuka: A Case of Bronchiolitis Obliterans Diagnosed by an Ultrathin Bronchoscopy After Bone Marrow Transplantation D40 NON-INFLAMMATORY DPLDs CASE REPORTS, ATS2019, Dallas (USA), 20190522

1930029

Y. Waseda, A. Shiraki, K. Saeki, S. Watanabe, T. Shoda, T. Ishida, S. Makino, K. Tomii, T. Hase, Y. Hasegawa, M. Okamoto, S. Izummi, A. Miyamoto, K. Kishi, T. Kishaba, M. Nara, A. Komatsuda, M. Arita, K. Kawamura, K. Ichikado, Y. Koreeda, T. Mitsuma, Y. Hamaguchi, Y. Muro, R. Egashira, H. Sumikawa, T. Ishizuka, T. Johkoh: Analysis of Clinical Features by Both Diagnosis and Types of Antibodies in Patients with Myositis Related Interstitial Lung Disease: A Retrospective Multicenter Study C-38 AUTOIMMUNE, DRUG RELATED, AND TRANSPLANT, ATS2019, Dallas (USA), 20190521

1930030

T. Ishizuka, M. Kadowaki, H. Yamada, K. Sato, H. Shigemitsu, Y. Umeda, M. Morikawa, Y. Waseda, M. Anzai, Y. Kamide, H. Aoki-Saito, T. Hisada, F. Okajima: Acidic pH-Induced CXCL8 Secretion Through Proton-Sensing Receptor OGR1 in Human Airway/Smooth Muscle Cells B32 ASTHMA: MECHANISMS OF DISEASE1, ATS2019, Dallas (USA), 20190520

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会 (全国レベル)

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

1930031

早稲田優子、松井祥子、石塚 全: IgG4関連呼吸器疾患の診断確立までの軌跡とモデルマウスの作成, 第59回日本呼吸器学会総会, シンポジウム11 女性科学者に未来を, 東京, 20190413

c. 一般講演 (口演)

1930032

古賀康彦, 佐藤隆博, 解良恭一, 蜂巣克昌, 江夏昌志, 石塚全, 久田剛志, 土橋邦正: 肺組織中シリカ濃度が特発性肺線維症の予後を予測する, 第50回日本職業・環境アレルギー学会総会・学術大会, 名古屋, 20190714

1930033

解良恭一, 今井久雄, 成清一郎, 根本健司, 桑子智人, 津田岳志, 鈴木健介, 安齋正樹, 内野順治, 両角延聡, 石原真一, 湊浩一, 久田剛志, 石塚全: EGFR遺伝子変異を有する高齢者非小細胞肺癌に関するアファチニブの第2相臨床試験, 第59回日本呼吸器学会学術講演会, 東京, 20190414

1930034

梅田幸寛, 武田俊宏, 佐藤謙之, 島田昭和, 山口牧子, 園田智明, 本定千知, 門脇麻衣子, 重見博子, 早稲田優子, 安齋正樹, 森川美羽, 飴嶋慎吾, 辻川哲也, 岡沢秀彦, 石塚 全: MRIを用いたSTIR画像による既治療非小細胞肺癌に対するニボルマブ療法の早期効果予測, 第60回日本肺癌学会学術集会, 大阪, 20191207

1930035

出村佳美, 長谷川智子, 上原佳子, 北野華奈恵, 磯波利主, 久田恭子, 木村秀樹, 石塚 全: 高齢COPD患者の口腔内細菌と口腔の健康状態および口腔セルフケアとの関連, 第29回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会, 名古屋, 20191112

1930036

梅田幸寛, 山口牧子, 武田俊宏, 佐藤謙之, 島田昭和, 園田智明, 本定千知, 門脇麻衣子, 重見博子, 早稲田優子, 安齋正樹, 西森一久, 森川幸恵, 岩野正之, 渡邊修司, 中嶋秀明, 今村好章, 坂上拓郎, 石塚 全: 抗インターフェロ γ 中和抗体が陽性であったM. fortuitumによる播種性非結核性抗酸菌症の1例, 第83回呼吸器合同北陸地方会, 第95回日本結核病学会, 第84回日本呼吸器学会, 第69回日本呼吸器内視鏡学会, 第54回日本サルコイドーシス学会, 黒部, 20191110

1930037

早稲田優子, 島田昭和, 武田俊宏, 佐藤謙之, 山口牧子, 園田智明, 本定千知, 門脇麻衣子, 重見博子, 梅田幸寛, 安齋正樹, 石塚 全: 筋炎、皮膚所見ともに認めなかった抗MDA5抗体陽性急速進行性間質性肺炎の一例, 第83回呼吸器合同北陸地方会・第95回日本結核病学会・第84回日本呼吸器学会・第69回日本呼吸器内視鏡学会・第54回日本サルコイドーシス学会, 黒部, 20191109

1930038

重見博子, 伊藤和広, 岩崎博道: Caspofunginによるサイトカイン産生制御作用-Sykシグナル経路との関連-, 第63回日本医真菌学会総会, 千葉, 20191011

1930039

門脇麻衣子, 佐藤幸市, 熊谷 信, 神尾尚志, 本定千知, 重見博子, 梅田幸寛, 森川美羽, 早稲田優子, 安齋正樹, 齊藤 悠, 久田剛志, 岡島史和, 石塚 全: 金属刺激によるヒト気道平滑筋細胞のIL-6産生, 第50回日本職業・環境アレルギー学会総会・学術大会, 名古屋, 20190714

1930040

重見博子, Kayembe David K, 坂口友里江, 木戸口周平, 早瀬由朗, 次田佳代, 鈴木悠紀子, 木村公平, 井村敏雄, 岡藤和博, 石塚 全, 重見研司: 血管脈波検査装置による左室動脈結合状態 (Ees/Ea) の算定における測定値のバラツキ, 第40回日本循環制御医学会総会・学術集会, 軽井沢, 20190607

1930041

重見博子, 田居克規, 伊藤和広, 山内高弘, 早稲田優子, 石塚 全, 岩崎博道: 2018年福井豪雪時におけるインフルエンザ蔓延の後方視的解析, 第93回日本感染症学会総会・学術講演会, 名古屋, 20190403

d. 一般講演（ポスター）

- 1930042** 此下忠志, 東慎一郎, 杉山光寿, 笠原美沙子, 古谷真知, 綿山沙織, 中屋隆裕, 山田実夏, 市川麻衣, 斉藤理恵, 佐藤さつき, 今川美智子, 銭丸康夫, 鈴木仁弥, 藤井美紀, 牧野耕和: ウロモジュリン遺伝子多型による尿酸と血圧の関係に関するメンデルランダム化法による関連解析, 第42回日本高血圧学会総会, 東京, 20191026
- 1930043** 佐藤真季子, 齋藤悠, 鶴巻寛朗, 矢富正清, 古賀康彦, 竹原和孝, 石塚全, 中倉敏, 池田鉦之, 福田隼, 周東智, 森哲哉, 土橋邦正, 山田正信, 久田剛志: House dust mite (HDM) 誘導気管支喘息モデルにおけるResolvinE3の効果と機序, 第59回日本呼吸器学会学術講演会, 東京, 20190414
- 1930044** 鶴巻寛朗, 齋藤悠, 茂木千尋, 佐藤幸市, 中倉敏, 古賀康彦, 矢富正清, 佐藤真季子, 石塚全, 土橋邦正, 岡島史和, 久田剛志: T cell death associated gene8 は Ovalbumin誘導喘息モデルにおいてMUC5ACを制御する, 第59回日本呼吸器学会学術講演会, 東京, 20190412
- 1930045** 山田実夏, 鈴木仁弥, 笠原美沙子, 浦邊真知, 綿山沙織, 中屋隆裕, 市川麻衣, 佐藤さつき, 今川美智子, 銭丸康夫, 弘瀬雅教, 此下忠志, 石塚全: ホルモン感受性リパーゼの過剰発現がAdipose triglycerido lipase 欠損マウス心筋の遺伝子発現・線維化とperilipin群に与える影響, 第51回動脈硬化学会総会・学術集会, 京都, 20190711
- 1930046** 銭丸康夫, 鈴木仁弥, 笠原美沙子, 古谷真知, 綿山沙織, 中屋隆裕, 山田実夏, 佐藤さつき, 今川美智子, 此下忠志: 心筋特異的HMG-CoA synthase2(HMGCS2) 過剰発現はミトコンドリアストレスを惹起し、ATF4を介する適応反応が誘導される, 第51回動脈硬化学会総会・学術集会, 京都, 20190711
- 1930047** 笠原美沙子, 此下忠志, 鈴木仁弥, 銭丸康夫, 牧野耕和, 藤井美紀, 今川美智子, 佐藤さつき, 山本勝司, 市川麻衣, 山田実夏, 中屋隆裕, 浦邊真知, 綿山沙織, 東慎一郎: 尿酸分必調節関連分子PDZK1の遺伝子多型と糖尿病性腎症の関連解析, 第62回日本糖尿病学会年次学術集会, 仙台, 20190524
- 1930048** 此下忠志, 東慎一郎, 笠原美佐子, 浦邊真知, 綿山沙織, 中屋隆裕, 山田実夏, 市川麻衣, 山本勝司, 佐藤さつき, 今川美智子, 藤井美紀, 牧野耕和, 銭丸康夫, 鈴木仁弥: 生活習慣病におけるウロモジュリン遺伝子の相関解析, 第62回日本糖尿病学会年次学術集会, 仙台, 20190524
- 1930049** 山田実夏, 鈴木仁弥, 佐藤さつき, 笠原美沙子, 浦邊真知, 綿山沙織, 中屋隆裕, 市川麻衣, 今川美智子, 銭丸康夫, 弘瀬雅教, 此下忠志, 石塚全: ホルモン感受性リパーゼの過剰発現がAdipose triglycerido lipase 欠損マウス心筋の遺伝子発現・線維化とperilipin群に与える影響, 第62回日本糖尿病学会年次学術集会, 仙台, 20190524
- 1930050** 銭丸康夫, 鈴木仁弥, 笠原美沙子, 古谷真知, 綿山沙織, 中屋隆裕, 山田実夏, 佐藤さつき, 今川美智子, 此下忠志: 心筋特異的HMG-CoA synthase2(HMGCS2) 過剰発現による心筋内アミノ酸代謝への影響, 第62回日本糖尿病学会年次学術集会, 仙台, 20190523
- 1930051** 佐藤謙之: 非小細胞肺癌に対する抗PD-1抗体治療の早期治療効果予測における18F-FLT PETの有用性, 第12回呼吸機能イメージング研究会学術集会, 東京, 20200124
- 1930052** 梅田幸寛, 武田俊宏, 佐藤謙之, 島田昭和, 山口牧子, 園田智明, 本定千知, 門脇麻衣子, 重見博子, 早稲田優子, 安斎正樹, 森川美羽, 飴嶋慎吾, 辻川哲也, 岡沢秀彦, 石塚 全: MRIを用いたSTIR画像による既治療非小細胞肺癌に対するニボルマブ療法の早期効果予測, 第60回日本肺癌学会学術集会, 大阪, 20191207
- 1930053** 出村佳美, 長谷川智子, 上原佳子, 北野華奈恵, 磯波利圭, 久田恭子, 木村秀樹, 石塚 全: 高齢COPD患者の口腔内細菌と口腔の健康状態および口腔セルフケアとの関連, 第29回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会, 名古屋, 20191112
- 1930054** 園田智明, 早稲田優子, 飯野志郎, 今村好章, 竹内真衣, 梅田幸寛, 森川美羽, 安斎正樹, 石塚 全: The case of non-small cell lung cancer followed by lip lymphoproliferative disease after immunotherapy呼吸器16 (非小細胞肺癌がん免疫療法・その他), 第17回日本臨床腫瘍学会学術集会, 京都, 20190720
- 1930055** 安斎正樹, 梅田幸寛, 佐藤謙之, 杉山光寿, 三ツ井美穂, 島田昭和, 園田智明, 山口牧子, 本定千知, 重見博子, 門脇麻衣子, 森川美羽, 早稲田優子, 石塚 全: 気管・気管支腫瘍②軟性気管支鏡下に摘除し得た気管内過誤腫の2例, 第42回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 東京, 20190704
- 1930056** 門脇麻衣子, 山田秀典, 佐藤幸一, 重見博子, 梅田幸寛, 森川美羽, 早稲田優子, 安斎正樹, 上出康介, 青木-齋藤悠, 久田剛志, 岡島史和, 石塚 全: “細胞外酸性刺激によるヒト気道平滑筋細胞のCXCL8産生におけるNF-κBの関与とステロイド反応性”, 第68回日本アレルギー学会総会, 東京, 20190614
- 1930057** 加藤卓浩, 飯野志郎, 山口由佳, 宮永美紀, 知野剛直, 尾山徳孝, 長谷川稔, 森川美羽, 石塚 全: 抗PD-1 抗体投与中に乾癬様皮疹を生じた4 例, 第118回日本皮膚科学会総会, 名古屋, 20190606
- 1930058** 坂下紗弓, 園田智明, 早稲田優子, 飯野志郎, 今村好章, 竹内真衣, 梅田幸寛, 森川美羽, 安斎正樹, 石塚 全: 非小細胞肺癌に対する免疫療法中に口唇リンパ増殖性疾患を発症し免疫療法中止にて縮小した一例, 医学生・研修医の日本内科学会ことはじめ2019 名古屋, 名古屋, 20190427
- 1930059** 早稲田優子, 白木 晶, 佐伯啓吾, 渡辺知志, 庄田武司, 横野茂樹, 室井啓介, 長谷川好規, 岡元昌樹, 泉 信有, 宮本 篤, 岸 一馬, 喜舎場朝雄, 有田真知子, 川村宏大, 一門和哉, 是枝快泉, 江頭玲子, 澄川裕充, 石塚 全, 上甲剛: 筋炎関連間質性肺疾患の各病態、抗体別における比較検討: 他施設共同研究後ろ向き研究, 第59回日本呼吸器学会総会, 東京, 20190414
- 1930060** 梅田幸寛, 森川美羽, 安斎正樹, 飴嶋慎吾, 門脇麻衣子, 早稲田優子, 重見博子, 本定千知, 園田智明, 山口牧子, 島田昭和, 佐藤謙之, 杉山光寿, 岡沢秀彦, 石塚 全: 統合型FDG-PET/MRIを用いた非小細胞肺癌に対するニボルマブの早期効果予測, 第59回日本呼吸器学会総会, 東京, 20190414
- 1930061** 園田智明, 重見博子, 島田昭和, 中嶋康貴, 佐藤謙之, 杉山光寿, 山口牧子, 門脇麻衣子, 森川美羽, 早稲田優子, 梅田幸寛, 安斎正樹, 石塚 全: ステロイド治療後の初回化学療法開始後、腫瘍崩壊症候群を認めた非小細胞肺癌の一例, 第59回日本呼吸器学会総会, 東京, 20190414
- 1930062** 門脇麻衣子, 佐藤幸市, 会津曜子, 小山内礼和, 熊谷 信, 神尾尚志, 重見博子, 島田昭和, 園田智明, 山口牧子, 梅田幸寛, 森川美羽, 安斎正樹, 早稲田優子, 齋藤 悠, 久田剛志, 岡島史和, 石塚 全: ニッケル、コバルト刺激によるヒト気道平滑筋細胞からのサイトカイン産生, 第59回日本呼吸器学会総会, 東京, 20190414
- 1930063** 佐藤謙之, 梅田幸寛, 杉山光寿, 島田昭和, 山口牧子, 園田智明, 本定千知, 門脇麻衣子, 重見博子, 森川美羽, 早稲田優子, 安斎正樹, 辻川哲也, 岡沢秀彦, 石塚 全: FLT-PET画像による非小細胞肺癌に対するPD-1抗体治療の早期効果予測, 第59回日本呼吸器学会総会, 東京, 20190413
- 1930064** 早稲田優子, 佐藤謙之, 杉山光寿, 島田昭和, 園田智明, 山口牧子, 門脇麻衣子, 重見博子, 梅田幸寛, 森川美羽, 安斎正樹, 佐伯啓吾, 笠原寿郎, 石塚 全: 気管支肺胞洗浄液 (BALF) 細胞分画の解析方法の違いが治療方針に与える影響, 第59回日本呼吸器学会総会, 東京, 20190413
- 1930065** 武田俊宏, 森川美羽, 山口牧子, 佐藤謙之, 杉山光寿, 島田昭和, 園田智明, 門脇麻衣子, 重見博子, 梅田幸寛, 早稲田優子, 安斎正樹, 石塚 全: 重症気管支喘息に対するベンラリズマブ治療効果の検討, 第59回日本呼吸器学会総会, 東京, 20190413
- 1930066** A Shimada, H Shigemii, M Satoh, M Sugiyama, T Sonoda, M Yamaguchi, M Kadowaki, M Morikawa, Y Umeda, Y Waseda, M Anzai, T Ishizuka: The analysis latent tuberculosis infection in hospitalized patients with diabetes mellitus in our facility, 第59回日本呼吸器学会総会, 東京, 20190413
- 1930067** H. Shigemii, A Okada, Simada, M Satoh, M Sugiyama, M Yamaguchi, T. Sonoda, M Kadowaki, M Morikawa, Y Umeda, Y Waseda, M Anzai, K Sakon, M Sasaki, T Koshijii, T Ishizuka: Retrospective surver of multiple cancers including lung cancer in our facility, 第59回日本呼吸器学会総会, 東京, 20190412

e. 一般講演

- 1930068** 山口牧子: 男女共同参画 呼吸器内科の輝かしい将来のために今すべきことを考える～アンケート調査結果を踏まえて～, 第59回日本呼吸器学会総会, 東京, 20190412

f. その他

- 1930069** 重見博子: Iot(Internet of Things)活用による手指衛生向上への試み, 第67回日本化学療法学会西日本支部総会, ランチョンセミナー9, 浜松, 20191109

(3) 国内学会（地方レベル）

a. 招待・特別講演等

1930070 石塚 全：成人喘息の診断と最新治療～抗体製剤を中心に～，第1回日本アレルギー北陸地方会，金沢，20191124

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

1930071 東慎一郎，杉山光寿，帰山沙織，古谷真知，佐藤さつき，今川美智子，斎藤理恵，銭丸康夫，鈴木仁弥，此下忠志：教育入院を契機に先端巨大症と診断された糖尿病の一例，第93回日本糖尿病学会中部地方会，福井，20190907

1930072 須永桃子，早稲田優子，島田昭和，武田俊宏，佐藤謙之，園田智明，山口牧子，本定千知，門脇麻衣子，重見博子，梅田幸寛，安斎正樹，石塚 全：環境真菌が診断に有用であった慢性過敏性肺炎の一例，第1回日本アレルギー北陸地方会，金沢，20191124

1930073 武田俊宏，園田智明，森川美羽，佐藤謙之，島田昭和，山口牧子，門脇麻衣子，重見博子，梅田幸寛，早稲田優子，安斎正樹，石塚 全：MET遺伝子異常を有する進行非小細胞肺癌に対してクリゾチニブが奏効した2例，第74回日本肺癌学会北陸支部学術集会，富山，20190713

1930074 石塚 全：気管支喘息治療のトピックス，第238回日本内科学会北陸地方会第・第77回北陸支部生涯教育講演会，福井大学医学部講義棟，20190616

1930075 黒川紘輔，園田智明，森川美羽，重見博子，門脇麻衣子，早稲田優子，梅田幸寛，安斎正樹，石塚 全，今村好章：人工呼吸器管理下で薬物治療を施行し救命し得た肺扁平上皮癌Oncologic emergencyの1例，第238回日本内科学会北陸地方会，福井大学医学部講義棟，20190616

1930076 森田美穂子，大蔵美幸，松田安史，根来英樹，細野奈穂子，山内高弘，多崎俊樹，山口牧子，早稲田優子，石塚 全：直接クームスと抗血小板抗体陽性の特発性肺線維症合併骨髓異形形成症候群，第238回日本内科学会北陸地方会，福井大学医学部講義棟，20190614

1930077 重見博子，島田昭和，武田俊宏，佐藤謙之，山口牧子，園田智明，本定千知，門脇麻衣子，森川美羽，早稲田優子，安斎正樹，梅田幸寛，石塚 全：子宮頸部転移を認めたEGFR遺伝子変異陽性肺線癌，第82回呼吸器合同北陸地方会，新潟，20190525

d. 一般講演（ポスター）

1930078 田中菜水，重見博子，早稲田優子，東 絵里，桑原勇治，石塚 全，岩崎博道：本院呼吸器病棟における手指衛生遵守の現状，第62回日本感染症学会西日本地方学術集会，浜松，20191109

e. 一般講演

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	IgG4関連肺疾患における自然リンパ球の役割とPD-1、PD-L1の関与	早稲田 優子		2019	1560000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	PD-1抗体による腫瘍応答の統合型PET/MRを用いた多角的機能画像による検討	梅田 幸寛		2019	1950000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	アンジオテンシンIV受容体の新規高感度測定系による分子遺伝学的ならびに臨床的評価	此下 忠志		2019	1560000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	脂肪滴による心筋Gap junctionリモデリング機序の解明	鈴木 仁弥		2019	1820000

(B) 奨学寄附金

受入件数	42
受入金額	15700000

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
----	---------	-----	-----	-----

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
-------	----	----

(C) 座長

国内学会	学会名	氏名
一般講演（ポスター）	第12回呼吸機能イメージング研究会研究会学術集会	石塚 全
一般講演（口演）	第29回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	石塚 全
一般講演（口演）	第83回呼吸器合同北陸地方会	石塚 全
一般講演	第28回国際喘息学会日本・北アジア部会	石塚 全
一般講演（口演）	第50回日本職業・環境アレルギー学会総会・学術大会	石塚 全
一般講演（口演）	第82回呼吸器合同北陸地方会	森川 美羽
	第116回日本内科学会総会・講演会	石塚 全
シンポジウム等	第59回日本呼吸器学会学術講演会	石塚 全

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長（主査）・委員	氏名
----------	------------	----

(E) その他